

1面のコラム「^{しゃめん}斜面」を読もう

斜面

2022.1.24

目にもとまらない速度で画面に次々と表示される3桁の数字。これを頭の中で足し上げていくのが「フラッシュ

暗算」だ。世界記録の問題で表示されるのは1・6秒程度に15個。一般の人は暗算どころか、数字を認識するのすら難しい◆暗算は珠算の競技だ。子どものころから練習していると、頭の中にそろばんが現れて計算できるようになる。脅威的な暗算ができる理由は分かっているが、最近の研究では熟練者の脳部位には太く安定的な神経のネットワークが形成されているという◆デジタル全盛の時代。5千年ほど前に原型が生まれたそろばんが見直されている。全国珠算教育連盟長野県支部によると、1月に実施される段位検定の受験者数が過去最多レベルだった。支部長の竹原直人さんは「道具がなくてもできる暗算の大切さを実感する親が多い」と話す◆日本式そろばんを45年前から教育に導入しているのがトンガだ。きっかけは大東文化大教授でそろばん指導者だった故中野敏雄さんが、飛行機でトンガの高官と乗り合わせたこと。珠算に興味があった国王と面会することになり国内で指導を依頼された◆中野さんの門下生がトンガで指導し、留学生も大学で受け入れた。その中からラトウ・ウイリアム志南利さんらラグビー日本代表として長年活躍した選手が何人も生まれた。今回の大規模噴火では大東文化大はいち早くトンガへの支援を表明した。伝統の計算機がつなぐ太く長い絆である。

斜面

2022.1.26

学生たちがよく「ギョッ」と言っていたと、北杜夫さんの「どくとるマンボウ青春記」にあった。「ギョエテ」

（ゲエテ）が由来だという。ゲエテらによる文学革新運動「疾風怒濤」。北さんの旧制松本高校時代もそう表現したくなる◆蛭カラでエネルギーシユな学生たち、知的で人間味のある教授らをユーモラスに描いた「青春記」は友や師、文学と出会った若い記憶でいっぱいだ。〈これほど吸収するところの多かった時代は、わが生涯に於て唯一のものといつてよい〉と書いている◆一方で〈私たちの心の底には、青年の悩み、孤独、疑惑などが常につきまとっていた〉とも。自分が何者かを見つめる悩ましい時期でもある。父・斎藤茂吉とも進路を巡り対立。「我ハ天才ナリ即異常者也。他人ハ一言之ニ口ヲハサムベカラス。ソツトシテオイテクレバヨシ」◆遺族が松本市の旧制高等学校校記念館にこのほど贈った遺品の中に反抗の「宣言」があった。父に従い医学部へ進むが、そこで物書きを志すことになる。贈られた品は約2千点。「宣言」を含めて、松高時代の写真や書斎の机など30点を記念館が展示中だ◆北さんもいた思誠寮の信大生に聞くと、今でも先輩が入寮生に寮歌を教えているという。触発して、高め合い、生き方を探してゆく気風も健在だろうか。大学入試がヤマ場を迎えている。どこへ進んでも、そこでしか味わえない疾風怒濤の青春が待っているはずだ。期待して門をたたこう。

1面のコラム「^{しゃめん}斜面」を読もう

ひらがなを漢字になおして書きましょう。

斜面

2022. 1. 24

めにもとまらない
そくどでがめん
つぎつぎとひょう
じされる3けたの
すうじ。これをあたまのな
かでたしあげていくのが
「フラッシュあんざん」だ。
せかいきろくのもんだいで
ひょうじされるのは1・6
びょうていどに15こ。いっ
ぱんのひとはあんざんどこ
ろか、すうじをにんしきす
るのすらむずかしい◆あん
ざんはしゅざんのきょうぎ
だ。こどものころかられん
しゅうしていると、あたま
のなかにそろばんがあらわ
れてけいさんできるようにな
る。きょういてきなあん
ざんができるりゅうはわかっ
ていないが、さいきんのけ
んきゅうではじゅくれんしゃ
のうぶいにはふとくあん
ていてきなしんけいのネッ
トワークがけいせいされて
いるという◆デジタルゼン
せいのじだい。5せんねん
ほどまえにげんけいがうま
れたそろばんがみなおされ
ている。全国珠算教育連盟
長野県支部によると、1が
つにじっしされるだんいけ
んていのじゅけんしゃすう

がかこさいたレベルだった。
しぶちょうの竹原直人さん
は「どうぐがなくともでき
るあんざんのたいせつさを
じっかんするおやがおおい」
とはなす◆にほんしきそろ
ばんを45ねんまえからきよ
ういくにどうにゆうしてい
るのがトンガだ。きっかけ
は大東文化大きょうじゅで
そろばんしどうしゃだった
こ中野敏雄さんが、ひこう
きでトンガのこうかんと
りあわせたこと。しゅざん
にきょうみがあったこくお
うとめんかいすることにな
りこくないでしどうをいら
いされた◆中野さんのもん
かせいがトンガでしどうし、
りゅうがくせいもだいがく
でうけいれた。そのなかか
らラトウ・ウィリアム志南
利さんらラグビーにほんだ
いひょうとしてながねんか
つやくしたせんしゅがなん
にんもうまれた。こんかい
のだいきぼふんかでは大東
文化大はいちはやくトンガ
へのしえんをひょうめいし
た。でんとうのけいさんき
がつなぐふとくながいきず
なである。

1面のコラム「斜面」を読もう

斜面

2022.1.24

目にもとまらない速度で画面に次々と表示される3桁の数字。これを頭の中で足し上げていくのが「フラッシュ

暗算」だ。世界記録の問題で表示されるのは1・6秒程度に15個。一般の人は暗算どころか、数字を認識するのすら難しい◆暗算は珠算の競技だ。子どものころから練習していると、頭の中にそろばんが現れて計算できるようになる。脅威的な暗算ができる理由は分かっているが、最近の研究では熟練者の脳部位には太く安定的な神経のネットワークが形成されているという◆デジタル全盛の時代。5千年ほど前に原型が生まれたそろばんが見直されている。全国珠算教育連盟長野県支部によると、1月に実施される段位検定の受験者数が過去最多レベルだった。支部長の竹原直人さんは「道具がなくてもできる暗算の大切さを実感する親が多い」と話す◆日本式そろばんを45年前から教育に導入しているのがトンガだ。きっかけは大東文化大教授でそろばん指導者だった故中野敏雄さんが、飛行機でトンガの高官と乗り合わせたこと。珠算に興味があった国王と面会することになり国内で指導を依頼された◆中野さんの門下生がトンガで指導し、留学生も大学で受け入れた。その中からラトウ・ウイリアム志南利さんらラグビー日本代表として長年活躍した選手が何人も生まれた。今回の大規模噴火では大東文化大はいち早くトンガへの支援を表明した。伝統の計算機がつなぐ太く長い絆である。

斜面

2022.1.26

学生たちがよく「ギョッ」と言っていたと、北杜夫さんの「どくとるマンボウ青春記」にあった。「ギョエテ」

（ゲエテ）が由来だという。ゲエテらによる文学革新運動「疾風怒濤」。北さんの旧制松本高校時代もそう表現したくなる◆蛭カラでエネルギーシユな学生たち、知的で人間味のある教授らをユーモラスに描いた「青春記」は友や師、文学と出会った若い記憶でいっぱいだ。〈これほど吸収するところの多かった時代は、わが生涯に於て唯一のものといつてよい〉と書いている◆一方で〈私たちの心の底には、青年の悩み、孤独、疑惑などが常につきまとっていた〉とも。自分が何者かを見つめる悩ましい時期でもある。父・斎藤茂吉とも進路を巡り対立。「我ハ天才ナリ即異常者也。他人ハ一言之ニ口ヲハサムベカラス。ソツトシテオイテクレバヨシ」◆遺族が松本市の旧制高等学校校記念館にこのほど贈った遺品の中に反抗の「宣言」があった。父に従い医学部へ進むが、そこで物書きを志すことになる。贈られた品は約2千点。「宣言」を含めて、松高時代の写真や書斎の机など30点を記念館が展示中だ◆北さんもいた思誠寮の信大生に聞くと、今でも先輩が入寮生に寮歌を教えているという。触発して、高め合い、生き方を探してゆく気風も健在だろうか。大学入試がヤマ場を迎えている。どこへ進んでも、そこでしか味わえない疾風怒濤の青春が待っているはずだ。期待して門をたたこう。

1面のコラム「斜面」を読もう

ひらがなを漢字になおして書きましょう。

斜面

2022. 1. 24

めにもとまらない
そくどでがめん
つぎつぎとひょう
じされる3けたの
すうじ。これをあたまのな
かでたしあげていくのが
「フラッシュあんざん」だ。
せかいきろくのもんだいで
ひょうじされるのは1・6
びょうていどに15こ。いっ
ぱんのひとはあんざんどこ
ろか、すうじをにんしきす
るのすらおずかしい◆あん
ざんはしゅざんのきょうぎ
だ。こどものころかられん
しゅうしている、あたま
のなかにそろばんがあらわ
れてけいさんできるよ
うになる。きょういてきなあん
ざんができるりゅうはわかっ
ていないが、さいきんのけ
んきゅうではじゅくれんしゃ
のうぶいにはふとくあん
ていてきなしんけいのネッ
トワークがけいせいされて
いるという◆デジタルぜん
せいのじだい。5せんねん
ほどまえにげんけいがうま
れたそろばんがみなおされ
ている。全国珠算教育連盟
長野県支部によると、1が
つにじっしされるだんいけ
んていのじゅけんしゃすう

がかこさいたレベルだった。
しぶちょうの竹原直人さん
は「どうぐがなくともでき
るあんざんのたいせつさを
じっかんするおやがおおい」
とはなす◆にほんしきそろ
ばんを45ねんまえからきよ
ういくにどうにゆうしてい
るのがトンガだ。きっかけ
は大東文化大きょうじゅで
そろばんしどうしゃだった
こ中野敏雄さんが、ひこう
きでトンガのこうかんと
りあわせたこと。しゅざん
にきょうみがあったこくお
うとめんかいすることにな
りこくないでしどうをいら
いされた◆中野さんのもん
かせいがトンガでしどうし、
りゅうがくせいもだいがく
でうけいれた。そのなかか
らラトウ・ウィリアム志南
利さんらラグビーにほんだ
いひょうとしてながねんか
つやくしたせんしゅがなん
にんもうまれた。こんかい
のだいきぼふんかでは大東
文化大はいちはやくトンガ
へのしえんをひょうめいし
た。でんとうのけいさんき
がつなぐふとくながいきず
なである。

固有名詞などの漢字は原文のままです。

コラム「斜面」を読んで考えを深めよう

斜面

2022.1.26

学生たちがよく「ギョ
ッ」と言っていたと、
北杜夫さんの「どくと
るマンボウ青春記」に
あった。「ギョエテ」

(ゲーテ)が由来だという。ゲーテらによる文学革新運動「疾風怒濤」。北さんの旧制松本高校時代もそう表現したくなる◆奮力ラでエネルギーシユな学生たち、知的で人間味のある教授らをユーモラスに描いた「青春記」は友や師、文学と出会った若い記憶でいっぱいだ。〈これほど吸収するところの多かった時代は、わが生涯に於て唯一のものといつてよい〉と書いている◆一方で〈私たちの心の底には、青年の悩み、孤独、疑惑などが常につきまとっていた〉とも。自分が何者かを見つめる悩ましい時期でもある。父・斎藤茂吉とも進路を巡り対立。「我ハ天才ナリ即異常者也。他人ハ一言之ニロヲハサムベカラス。ソツトシテオイテクレバヨシ」◆遺族が松本市の旧制高等学校記念館にこのほど贈った遺品の中に反抗の「宣言」があった。父に従い医学部へ進むが、そこで物書きを志すことになる。贈られた品は約2千点。「宣言」を含めて、松高時代の写真や書斎の机など30点を記念館が展示中だ◆北さんもいた思誠寮の信大生に聞くと、今でも先輩が入寮生に寮歌を教えているという。触発して、高め合い、生き方を探してゆく気風も健在だろうか。大入学入試がヤマ場を迎えている。どこへ進んでも、そこではかわらない疾風怒濤の青春が待っているはずだ。期待して門をたたこう。

① コラム「斜面」を読んで、筆者が言いたいことを簡潔に書きましよう。

② 【意見提示】 「斜面」の内容に対するあなたの意見を書きましよう。

③ 【展開】 あなたの意見の根拠を三つ書きましよう。

Three large dashed boxes for student responses.

() () ()

伝えたい順番